

人がつながる、笑顔もつながる、つながるニュース

コセッココー通信

2021 SPRING Vol.12



巨勢ッココちゃん

●発行：巨勢まちづくり協議会

●お問い合わせ：巨勢公民館 〒840-0007 佐賀市巨勢町高尾104-17 TEL/FAX:0952-26-9218 E-mail:kkose@city.saga.lg.jp

“コロナ環境下での町づくり”

巨勢まちづくり協議会 会長 石井 孝嗣

巨勢町民の皆さん 平素は、まちづくり協議会並びに各部会の活動に対して、力強いご支援・ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

啓蟄も過ぎ、土の中に眠っていた虫たちが目覚めて、地上に出てきていますが、私たちは、コロナ環境下で自粛せざるを得ません。そうした中での、イベントの在り方、新しい形を町民の皆さんのお力を頂き、模索していかなければなりません。

新しい巨勢へのお力添えよろしくお願い致します。

本部、運営・企画部会



巨勢町健康ウォーキング

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあって、残念ながら校区行事がほぼ中止となってしまいましたが、そうした中で、12月6日の日曜日、まちづくり協議会と巨勢公民館の共催で、初めて「巨勢町健康ウォーキング」を開催することができました。

これは、身近で気軽にできる健康づくり、体力づくりの一助となるよう、三密などに十分留意したうえで、恒例の『町民親睦「走ろう会」』と同時開催したものです。

晴れ渡った空の下、参加者47人の方々が、2グループ(通常ペースとゆっくりペース)に分かれ、それぞれ、巨勢公園をスタートしました。コースは、国道264号と佐賀江川沿いの佐賀大川線との間に広がる田園地帯を歩いて巨勢公園に戻る約6キロです。参加者の皆様、初冬の巨勢路を楽しみながら完歩されました。



巨勢町健康ウォーキング開会式



巨勢農免大橋に向かう第2グループ



熊野権現の前を通る第1グループ



ハウス前から北に向かう第2グループ

子ども部会



ボランティア活動・ドッチビー大会

11月22日の天気が気がかりだったのですが、当日は雨も降らず、強風も吹かずホッと胸をなでおろしました。巨勢校区子ども会との共催で、子どもと大人総勢64名が参加しました。受付で検温、手の消毒の後、初めに巨勢公園の小石拾いをしました。広場の小石はみんな拾ってもなかなか減りませんでした。かなり大きな小石も出てきてびっくり。ボランティア活動の後は2コートに分かれてドッチビーの試合をしました。試合に熱中してくるとフリスビーが目まぐるしく飛び交うようになりました。試合後、子どもたちに感想を聞くと「ドッチビーは楽しかった」と言ってくれました。



ボランティア活動



ドッチビー大会

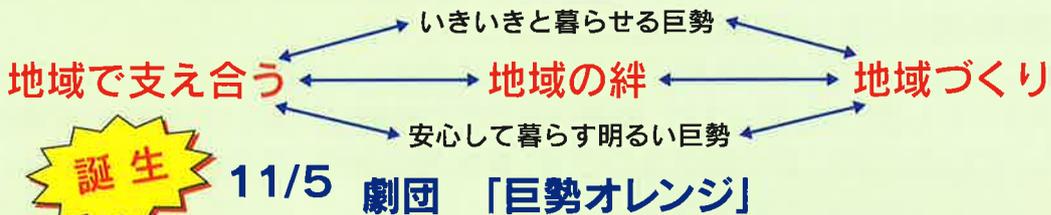
「ひがさす」(東よか干潟ビジターセンター) 見学

12月13日、「ひがさす」見学のため21台の自家用車に乗って64名の親子が現地集合しました。この日は12月ということもあり巨勢校区の親子だけの貸切状態でした。新型コロナウイルス感染防止のため、館内の見学グループと堤防での自然観察グループの2グループに分けました。それぞれのグループにボランティアの方から説明をしていただきました。館内では検温や消毒後、全員マスクをして、シアターで干潟の自然を学んだり、展示物を見学したりしました。また、展望棟では双眼鏡を使って干潟や野鳥の観察をしました。ガラス張りの最上階は360度見渡せて素晴らしい景色でした。堤防ではボランティアの方から干潟、野鳥の生態などについて説明をしていただきました。



「ひがさす」見学

福祉・健康部会



劇団「巨勢オレンジ」の上演



ご声いただきありがとうございました。劇団「巨勢オレンジ」出演者

私達、福祉健康部会が中心の未だ未だ若い劇団です。つながる巨勢で・・・発信中
あなたの町区で一諸に。。。福祉健康部会に気軽に声かけて・・・活動に注目

今後の取組み

- ①町民の「健康づくりや健康寿命」を延ばす活動の充実・推進・・・
 - ②「健康維持・増進」に心がけ、健康づくりや介護予防の取組みできる環境づくり
- いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来る

「巨勢町」を



年2回(春、秋)、巨勢公園で花植え

春 5月24日、巨勢公園時計台下および南側駐車場2ヶ所の花壇に6種類の季節の草花を植えました。

また、公園広場、西の花壇には花を植えず黒シート張りをして秋のチューリップ植えのために準備しました。



秋 11月8日、役員さん13名に参加いただき、秋から春の花を植え、7種類の花、パンジー、ナデシコ、ノースポール、金魚草、宿根ガザニア、芝桜、チューリップ150個を植えています。チューリップは、3月中旬頃に見頃になりました。巨勢町民の皆様も、公園にお越しいただき、ありがとうございます。役員の皆様1年間お疲れさまでした。



花の撤去・耕作



花植え付けの参加者

歴史・文化継承委員会



私たち、歴史文化継承委員会は巨勢町の重要な歴史や文化を後世に伝えて行こうと令和2年5月に発足した新しい委員会です。

令和2年度は、『巨勢町の史跡名所の説明板』の設置・改修や『歴史マップ(仮称)』の発行に向けて各方面からの資料収集、現地調査などを行っております。資料が古かったり、道路拡張や開発により史跡が移設されてあったり、ゼロからのスタートでなかなか進まない部分もありましたが「巨勢町にこんなものがあったのか!」といった新たな発見もありました。説明板の設置やマップの完成は今秋頃を予定しております。もうしばらくお待ちください。



史跡の現地調査

巨勢町史跡紹介
その1

●肥筑軌道跡

巨勢に鉄道が走ってた!? そうなんです。わが町巨勢に鉄道が走っていた時期があるのです。

大正末から昭和初期にかけて軌道(軽便鉄道)が高尾駅を起点として犬尾駅や蓮池駅を經由し、千代田の崎村駅までの6.7km通っていました。大正6年、真崎照郷などが発起人となり肥筑軌道株式会社を設立し大正6年に工事に着手、第一次大戦で物価が上がり一時中断しましたが、大正11年、工事再開して12年5月竣工、24日営業開始しました。2両編成の車両に機関車がついてヒョーツという汽笛を鳴らし走っていました。この軌道は久留米まで延長される予定でしたが、第一次大戦後の不景気で資金も続かず経営困難となり倒産して昭和10年頃廃止されました。

参考：佐賀市地域文化財データベースサイト さがの歴史・文化お宝帳 鉄道廃線跡を歩くIX(JTB)



肥筑軌道説明パネル



11月29日、佐賀南警察署にお願いして、「交通安全教室」を開催しました。今回は「危険予測トレーニング」と題して最新機器を駆使し、実際に運転をしているような臨場感で、事故が起こる可能性が高い危険箇所、そのタイミング等を学びました。

活発な意見が飛び交い、有意義な時間を過ごしました。



交通安全教室（危険予測トレーニング）

自主防災組織設置推進委員会



- 《目標》 1.未設置の6自治会に自主防災組織を設置する（令和3～4年度）
- 2.残る未設置8自治会と校区の自主防災組織を設置する（令和4～5年度）

みんなで防災、強い絆が命を守る！ 私たちの町は私たちが守りましょう！

令和2年5月に発足した自主防災組織設置推進委員会は、令和3年2月までに全7回の会議を経て7自治会に対し結成に向けた説明会を行いました。

その結果、現在4～5自治会が3年度設置に向けて検討されています。今後も「まちづくり計画・夢プラン」に沿って説明会を行います。また、校区の自主防災組織は、その組織や活動内容について校区内の各団体と協議を重ね各自治会とも連携した体制を構築してまいります。（修理田、構口両自治会は設置済み）



自主防災組織設置推進委員会開催風景



自主防災組織設置の町区説明

ご存じですか「つながる巨勢」

◎巨勢まちづくり協議会の活動を紹介しています。皆さん“つながる巨勢”のホームページを一度開いてみてください。

